

Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 144 2011. 11. 17.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

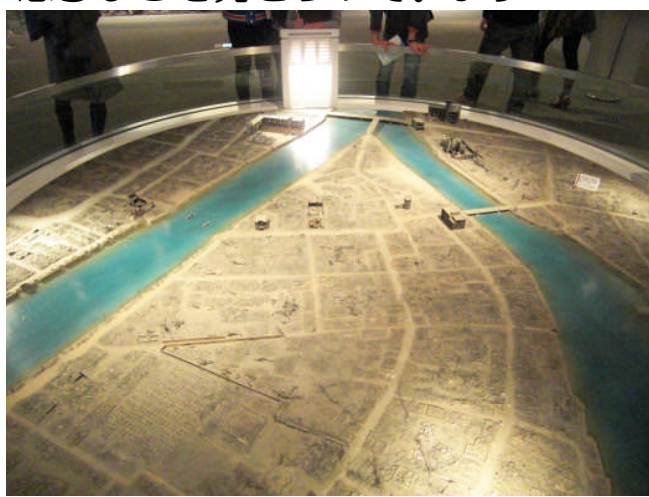
広島平和研修に参加してきました！ その1

11月12日、広島平和公園において新幹線関西地本主催の平和研修が開催され、私たち大阪修繕車両所からも3名の組合員が参加しました。

現地では、JR西労の仲間が、私たちのためにパンフレットを作ってください、それを見ながらJR西労広島地方本部の松田副執行委員長から平和記念公園内にある原爆ドーム、原爆の子の像、平和の鐘、原爆死没者慰霊碑等について懇切丁寧な説明を受け、平和研修の最後に広島平和記念資料館を見学しました。



原爆ドームは元広島県産業奨励館と言われ、1945年8月6日、原爆が投下され、爆心点のほぼ真下にあったため倒壊はまぬがれましたが、大破全焼し、本屋の中心部のみの残骸と化しました。また、この館で働いていた約120人は全員亡くなりました。原爆ドームは核兵器の恐怖を示す「生き証人」として、現在も私たちに核兵器の恐ろしさを見せつけています。



たった1発の原爆は、広島市街を壊滅させ、何十万人もの何の罪もない市民の命を奪いました。また、爆心地から離れていて直接の被害にあわなかったものの放出された放射能により後々まで後遺症に苦しむようになった方や66年たった今でも後遺症に苦しんでおられる方をたくさん生み出しました。原爆のすさまじさや放射能の恐ろしさをまざまざと見せつけられ言葉も出ませんが、あらためて核兵器、核兵器のもととなるプルトニウムを生み出す原爆のない社会を創造しなければならないと思いました。

【INUI】